

## デロンギヒーター[ハイブリッド型]

Mod. **HG010915EC**

- 9枚フィン：L字型
- 1500W：1100W + 400W（側面IHSヒーター）
- 24時間ON/OFF型電子タイマー付

# 取扱説明書

## 前輪・後輪の取付け方



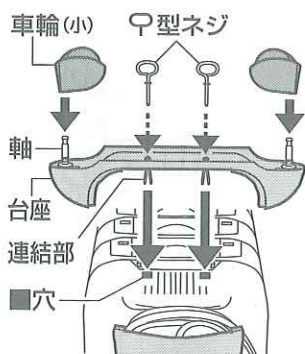
本体の底面を上向きにして、所定の位置に車輪を取り付けます。

### ご注意

本体が倒れる恐れがありますので、必ず付属の緩衝材（発泡スチロール）をつけた状態で行ってください。

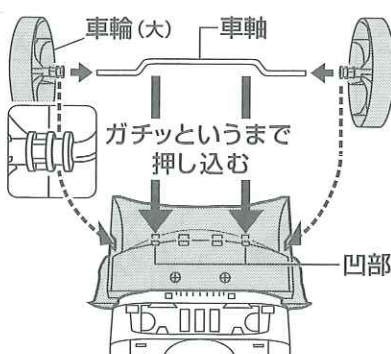
### 前輪の取付け

- ① 車輪(小)を台座の軸にガチッというまで押し込みます。
- ② 連結部を手前にして、**■**穴に差し込みます。
- ③ **▽**型ネジを台座の穴に入れ、しっかり締めます。



### 後輪の取付け

- ① 車輪(大)を車軸に奥まで押し込みます。
- ② 車軸を**┌**にして、ガチッというまで凹部に押し込みます。このとき、両車輪の根元部分も必ず正しい位置に取り付けてください。



車輪を取り付けた後は、本体をゆっくりと起こし、緩衝材および保護シートを取り除いてください。

この度は、デロンギヒーターをお買上げいただきまして、誠にありがとうございました。お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

## も く じ

- ・ 安全上のご注意-----1～5
- ・ 知っておいていただきたいこと---5
- ・ 各部の名称とはたらき-----6
- ・ 操作手順：暖房のしかたは2通りあります  
(Ⅰ) 手動運転-----7  
(Ⅱ) タイマー運転-----8
- ・ お手入れ／保管のしかた-----9
- ・ 真心点検について-----9
- ・ これは故障ではありません---10
- ・ アフターサービス-----10
- ・ デロンギ・エコカバーの使い方---裏面
- ・ 仕様-----裏面



# 安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

- ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- 注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の三つに区分し、明示しています。



## 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容」を示しています。



## 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



## 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

- 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示(記号)が付いています。



：発火注意



：感電注意



：高温注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制または指示



：差込みプラグをコンセントから抜く

## 電源について



## 警告

- 電源は、家庭用交流100V／50・60Hzをご使用ください。
- 電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接おとりください。

ヒーターの差込みプラグは、コンセントに直接つないでください。



15A125V



- ヒーターは、単独でご使用ください。
- 二口コンセントの場合は、片方の差込み口を空けたままでご使用ください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱し、発火することがあります。

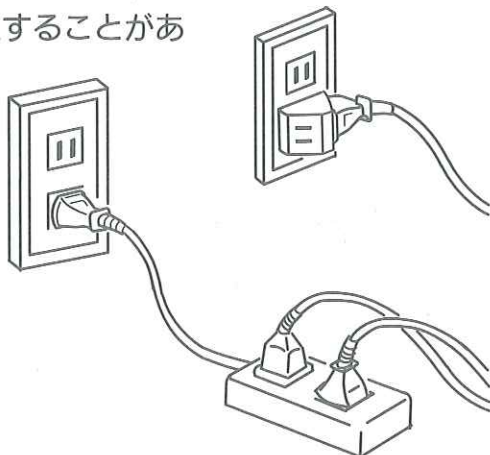


## 電源について

# 警告

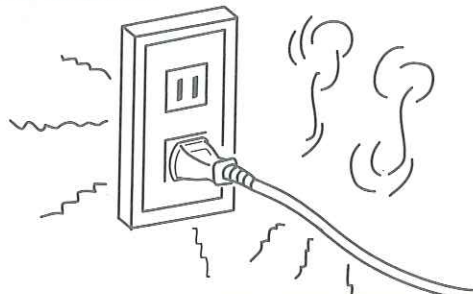
- 延長コード、テーブルタップ、ソケットなどは、絶対に使用しないでください。

コンセントや電源コードが発熱し、発火することがあります。



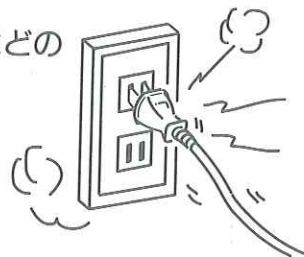
- 電源コードおよび差し込みプラグが、破損したり、運転中に異常に熱くなる場合は、直ちに使用を中止し、販売店または弊社サービスセンター(10頁参照)に交換を依頼してください。

ショートや発火する恐れがあります。



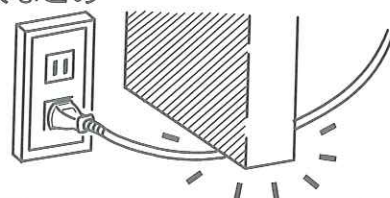
- 差し込みプラグは、根元までしっかりと差し込んでください。また、差し込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。

感電、ショート、発火などの原因になります。



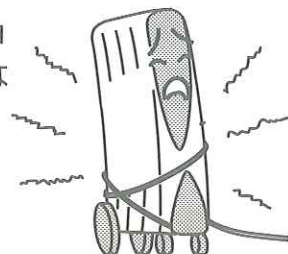
- 差し込みプラグ/電源コードは、傷付けたり、無理に曲げたり、重たい物をのせないでください。

感電、ショート、発火などの原因になります。



- 運転中は、電源コードがラジエター(放熱板)に触れないようにしてください。

熱で電源コードが傷み、ショートや感電などの原因になります。

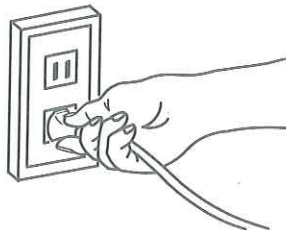


## 電源について

# 注意

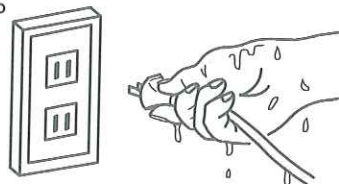
- 電源コードをコンセントから抜く際は、必ず差し込みプラグを持って抜いてください。

電源コードを持って無理に引っ張ると、破損し、感電やショート、発火などの原因になります。



- 濡れた手で、差し込みプラグの抜き差しをしないでください。

感電の恐れがあります。



- 運転の際、電源コードはコードホルダーから解いてください。



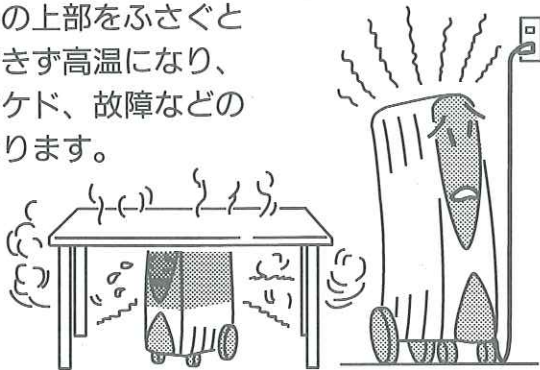


## 設置場所について

## ⚠ 警告

- テーブルや机、電源をとるコンセントのすぐ下での使用は、お止めください。

ヒーターの上部をふさぐと対流ができず高温になり、火災やヤケド、故障などの原因になります。



- 水や湿気の多い場所での使用は、お止めください。

ショートや感電の恐れがあります。

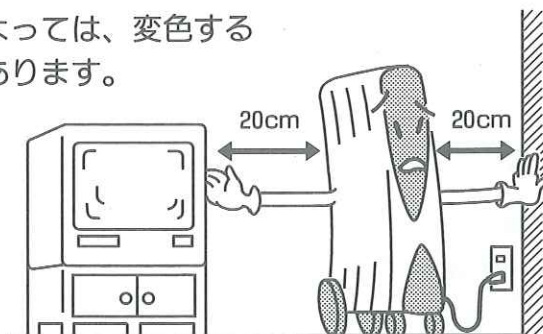


## 設置場所について

## ⚠ 注意

- 壁や家具、電源をとるコンセントからは必ず20cm以上離してください。

材質によっては、変色する場合があります。



- 平らなところ(床)に置いてください。

倒れると、ケガや事故の恐れがあります。



## 使用する上で —

## ⚠ 危険

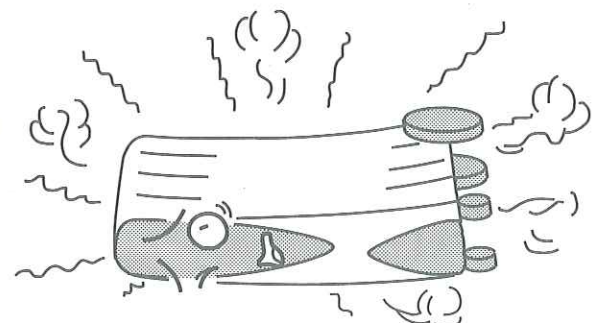
- ラジエーターのスキ間に発泡スチロールやビニールなどを入れないでください。

側面ヒーターの熱で溶け、悪臭を放つ恐れがありますので、必ず取り除いてください。



- 横倒しでの使用は、絶対にお止めください。

火災や故障などの恐れがあり、危険です。



使用する上で —

## 警告

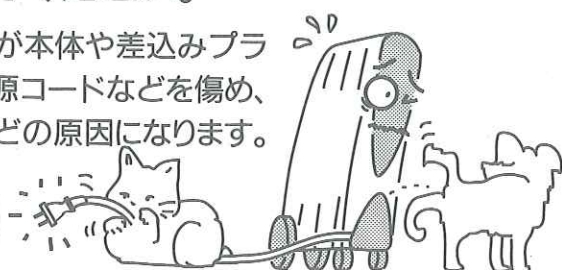
- ふとんや毛布、濡れたもの(洗濯物)などをかけないでください。

過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



- 犬や猫など、ペットの暖房用に使用しないでください。

ペットが本体や差し込みプラグ/電源コードなどを傷め、火災などの原因になります。



- 本体にはオイルが密封されているため、分解や修理、改造はお止めください。

発火や故障などの原因になります。



- 長期使用しない場合は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

コンセントの間にたまったゴミや結露が、ショートや漏電、発火などの原因になります。



使用する上で —

## 注意

- ヒーターの移動は、冷えてから行なってください。



- 車輪は、本体底面の所定の位置に正しく取り付けてください。

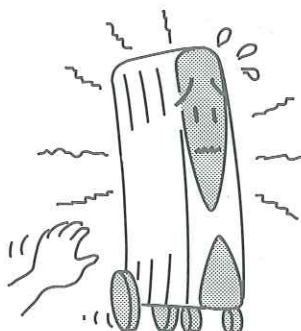


運転中は —

## 警告

- 運転中および停止直後は、ラジエター(放熱板)に触れないでください。

ラジエターの表面温度は、最高で約80~90℃になりますので、長い間触れていると、ヤケドをする恐れがあります。



- 本体および操作パネルに、水やジュースなどをこぼさないでください。

万一こぼした場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに使用を中止して、弊社サービスセンター(10頁参照)までご相談ください。



- 万一、異常が生じた場合は、直ちに電力スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜き、使用を中止します。



異常な状態で使用を続けると、事故や故障につながります。必ず、弊社サービスセンター(10頁参照)までご連絡ください。



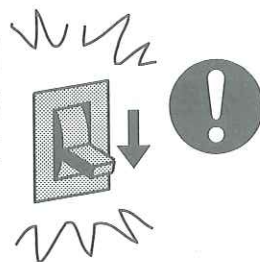
運転中は —

## ⚠ 注意

- 小さなお子様がいるときは、必ず付き添ってください。



- ブレーカー(分電盤内の回路遮断器)が落ちる場合は、電力会社にご相談ください。



お手入れ、  
保管について

## ⚠ 警告

- 必ず差込みプラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



お手入れ、  
保管について

## ⚠ 注意

- 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使用しないでください。



金たわし



## 知っておいていただきたいこと

定格電流に  
ついて



本製品の定格電流は、15 A (アンペア) です。ご家庭内で使用中の他の電気器具(複数)の定格電流との合計値が、契約電力(電気料金の請求書「基本契約欄」に OOA と記載)を超えていないか

確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100 (\text{V: 電圧})}$$

ブレーカーに  
ついて



ブレーカー(分電盤内にある回路遮断器)は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している場

合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き(=落ち)ます。

※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

電気代(目安)に  
ついて



1時間当りの電気代(目安)は、暖房する部屋の諸条件(建材や位置など)により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。(※1kW/h=22円として算出した場合)

電源を入れてから  
30分~1時間  
(消費電力は最大)

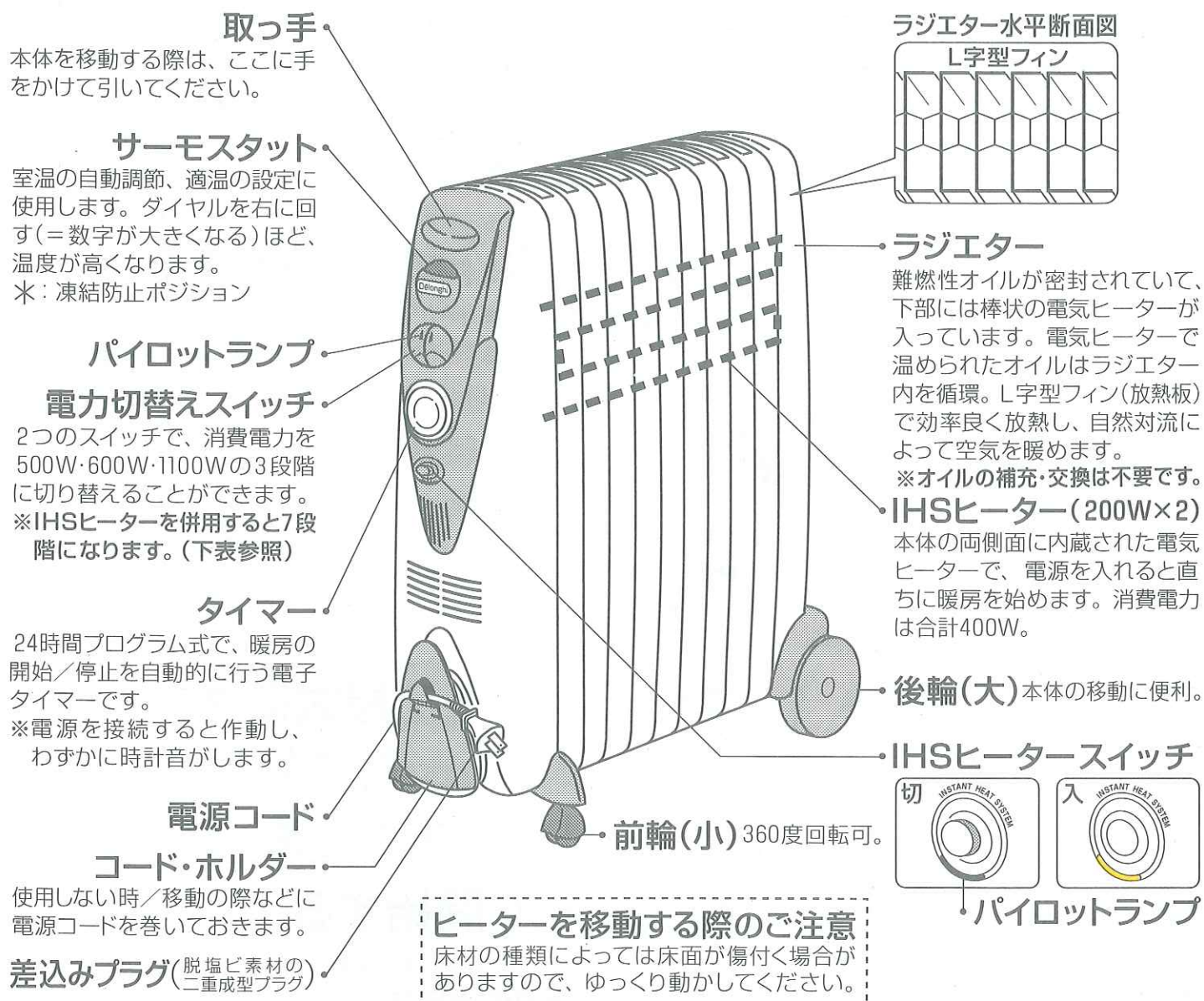
約33円/時間

室温が適温に達した後  
サーモスタットで調節  
(ヒーター稼働率が60%の場合)

約20円/時間



# 各部の名称とはたらき



## 電力(W)は、7段階に設定できます

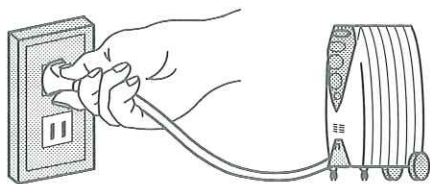
暖房運転	オイルラジエター			IHSヒーター	ハイブリッド(オイルラジエター+IHSヒーター)		
電力(W)	500W	600W	1100W	400W	900W	1000W	1500W
電力切替えスイッチ I: 500W II: 600W	入 切 	切 入 	入 入 	切 切 	入 切 	切 入 	入 入 
IHSヒータースイッチ 400W	切(⌒) 			入(—) (スイッチを押し込んだ状態)			
サーモスタット 作動範囲(W)	0 ~ 500W	0 ~ 600W	0 ~ 1100W	0 ~ 400W	500 ~ 900W	0 ~ 1000W	500 ~ 1500W
凍結防止 オート機能*	●	●	●		●		

※サーモスタット作動中は、電力切替えスイッチおよびIHSヒータースイッチのパイロットランプは消点灯を繰り返します。  
※サーモスタットを氷位置にセットして暖房運転すると、室温が5℃以下にならないように自動制御します。



# 操作手順(I) 手動運転

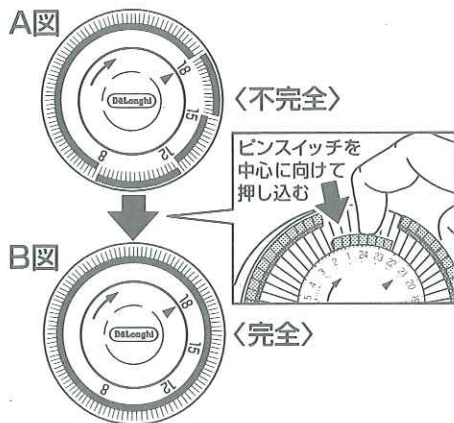
1



## 電源を接続する

差し込みプラグを直接、壁面のコンセント(15A以上)にしっかりと根元まで差し込みます。

2



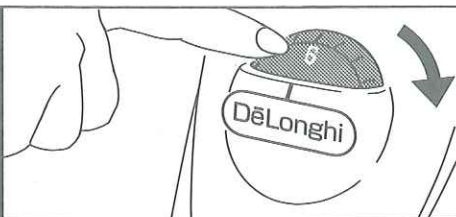
## タイマーの作動を解除する

暖房の開始/停止を電力切替えスイッチおよびIHSヒータースイッチで行う＝手動運転は、**タイマーが作動しない状態**(B図：ピンスイッチが全て内側にある)で行います。

出荷時には、タイマーのピンスイッチは全て内側にありますが、そうでない場合(A図：一部のピンスイッチが外側にある＝タイマー作動の状態)は、必ず全てのピンスイッチを中心に向けて押し込んでください。

▶タイマーの使い方およびタイマー運転は、右頁を参照ください。

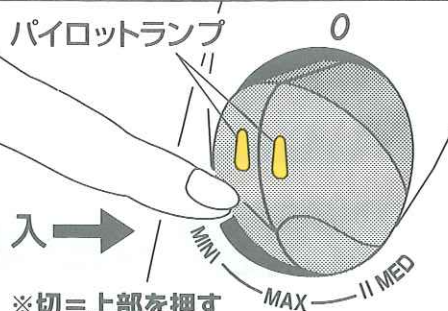
3



## サーモスタットを最大にセットする

サーモスタットのダイヤルを右いっぱい(最大数まで)回し、出力レベルを最大にセットします。

4



※切＝上部を押す

※暖房運転を停止する場合は、全てのスイッチを切ります。

⚠高温注意：ラジエーター部分は、運転中および停止後しばらくは熱いので、触れないでください。

## 暖房運転を開始する(ハイブリッド暖房)

電力切替えスイッチを入れます。運転当初は、左右のスイッチを入れて(※最大電力にして)ください。パイロットランプが点灯し、オイルラジエーター暖房が始まります。

※ I (左: 500W) + II (右: 600W) = MAX (左右: 1100W)

早く暖めるためにIHSヒーター(合計400W)を併用する(＝ハイブリッド暖房)と、最大電力が1500Wになります。(詳しくは6P.参照)



## 適温(体感温度)を設定する

お望みの室温になったら、サーモスタットをゆっくりと左に回し、いずれかのパイロットランプが消えたところで止めます。これで適温がセットされ、あとは自動的に適温が保たれます。室温を上げたいときは、サーモスタットを右に回し(数字が大きくなる)、下げたいときは左に回します。



# 操作手順(Ⅱ) タイマー運転

## ●ON/OFF型電子タイマーです

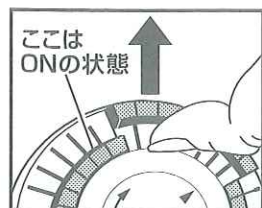
設定した時間に暖房を開始(ON)するだけでなく、停止(OFF)することもできます。

## ●24時間プログラム式です

一度設定すれば、毎日同じ時刻に一定の時間だけ暖房することができます。

## 【タイマーのしくみと使い方】

### ●各部の名称としくみ

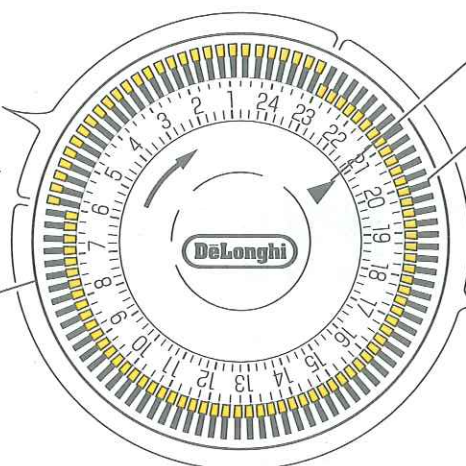


**OFFの状態**  
ピンスイッチを  
外側に引き上げる。

#### ダイヤル(右回り)

24時間分の目盛が記されています。  
1目盛は15分。  
ダイヤルは、右方向にしか回りませんので、ご注意ください。

※図のタイマーは、「現在の時刻は夜の9時(21時)、朝6時から夜の11時(23時)まで連続暖房する」場合を示しています。

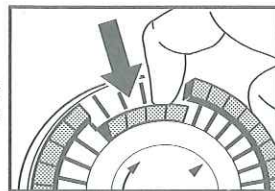


### セットポイント

▲位置に、現在時刻を合わせます。  
**ピンスイッチ(赤色)**

内側に押し込んだ状態でON(通電)、外側に引き上げた状態がOFF(停止)です。ピンは24時間分96個(ピン1個は15分)あります。

**ONの状態**  
ピンスイッチを  
中心に向かって押し込む



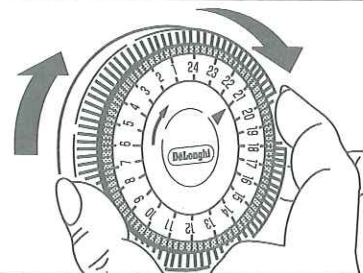
注意：ピンスイッチを誤ってパネル方向に押すと、タイマーが脱落する場合があります。

## 【タイマーを使って暖房する場合の操作手順】

### ①電源を接続する

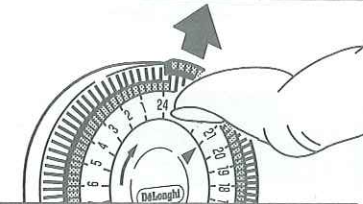
差込みプラグを壁面のコンセントに直接差し込みます。  
※タイマーは、電源を接続しないと作動しません。

### ②現在時刻を合わせる



タイマーを右に回し、現在の時刻(ダイヤル目盛)をセットポイント(▲印)に合わせます。  
※図のタイマーは、全てのピンスイッチが中心に押し込まれた(ON)状態です。

### ③暖房時間をセットする



暖房したい時刻のピンスイッチ(1個=15分)を時間分だけ残し、あとは全て引き上げます。

### ④電力切替えスイッチを入れる

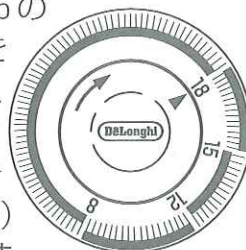
サーモスタットを最大数にセットし、電力切替えスイッチを(当初は2つとも)入れます。  
※電力切替えスイッチを入れないと、指定した時刻がきても暖房が始まりません。

### 暖房時間のセット例

例：夕方6時から朝8時までと、昼12時から午後3時までの2回暖房をする場合

①タイマーを右に回し、現在の時刻「18時」(仮定)をセットポイントに合わせます。

②18～8、12～15のピンスイッチを内側(=ON)に、それ以外の全てのピンスイッチは外側(=OFF)に引き上げます。



③電力切替えスイッチを入れます。

①で合わせた時刻が②でセットした暖房時間内にあるので、すぐに暖房運転が始まります。あとは、時間の設定を変えない限り、毎日同じサイクルで暖房が行われます。



# ヒーターの上手な使い方

## 節電対策

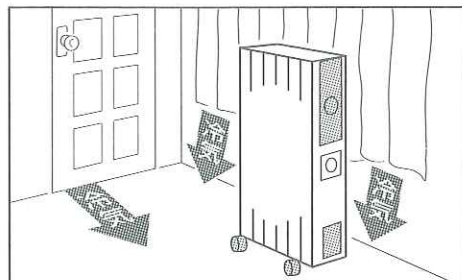
サーモスタットと電子タイマーを上手に使うことで、ご希望の時間に暖房を開始／停止し、お部屋の適温を一定に保つことができます。また、ムダな暖め過ぎも防ぎ、効率的な暖房効果が得られます。

※サーモスタットについては、7頁の手順5「適温(体感温度)を設定する」。電子タイマーについては、8頁の「暖房時間のセット例」を参照してください。


## 設置場所：ダウンドラフト対策

「輻射熱」で暖めるオイルヒーターは、お部屋の中で特に冷気が発生しやすい場所＝窓やドアの側に設置してください。

さらに、窓のカーテンを閉めたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることにより、効果的な暖房が得られます。

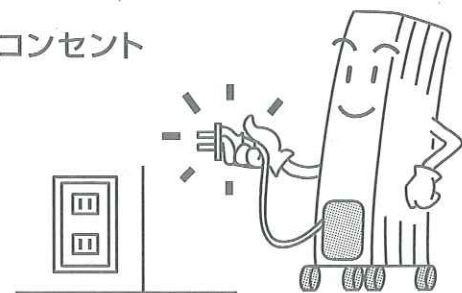


# お手入れ／保管のしかた

→  お手入れおよび保管をする場合は、事前に必ず差込みプラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行ってください。

⊘  洗剤やクレンザー、シンナー、金たわし等は、使用しないでください。

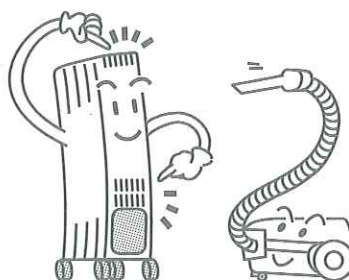
⊘  保管する際は、横倒しにしたり、上に物を乗せないでください。



- 収納／保管する際は、エコカバーをしてホコリを防ぎ、乾燥した場所に置いてください。



- お手入れは、定期的に行ってください。
- 操作パネル内のゴミやホコリは、掃除機で吸い取るか吹き出してください。



- 本体は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は布にお湯を含ませ、かたく絞ってから拭いてください。



# 真心点検について

## 長年ご使用のデロンギヒーターの点検を——

保証期間(3年)が過ぎて気になる点がございましたら、安全のため、専門技術者による点検(持込み)をお勧めします。点検の依頼方法、料金等につきましては、弊社サービスセンター(右頁参照)までお問い合わせください。





# これは故障ではありません

## 初回ご使用時の 臭いについて

初めてご使用になる時に、若干、異臭を感じる場合があります。これは、ラジエターの塗装面が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。但し、数度ご使用されても臭いがしたり、初回でも臭いがきつい場合は他の原因も考えられますので、使用を中止し、弊社サービスセンター(下記参照)までご連絡ください。

## パチッパチッと 音がする

電力スイッチを入れると、しばらく天ぷらを揚げるような音がする場合があります。これは外気との温度差によってラジエター内部に結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのものです。異常ではありません。

## パネル内部に 青白い光が見える

周囲が暗いと、サーモスタットや電子タイマーのある操作パネル内部に青白い光が見えることがあります。これはサーモスタットまたは電子タイマーが自動的に電源をON/OFFする際のもので、故障ではありません。

# アフターサービス

- 使用中に異常が生じたときは、直ちに全ての電力スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記参照)にご相談ください。
- 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期 ②製品名称と型式番号 ③故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。  
※宅配便などを利用して弊社サービスセンターに直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。
- 保証期間中(3年)は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店か弊社サービスセンター(下記)までお問い合わせください。

## デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30~18:00)

- 横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内 4号ビル

修理について Tel.0120-804-280  
お問い合わせ Tel.0120-064-300 / Fax.045-450-3291

- 大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25

修理について Tel.0120-692-885  
お問い合わせ Tel.0120-692-880 / Fax.06-6368-2881

- ホームページでのお問い合わせ(URL) <http://www.delonghi.co.jp>



# デロンギ・エコカバーの使い方

1)ホコリよけのカバーとして：シーズンオフには、収納／保管用カバーとしてご利用ください。

2)ご不用時／回収(再資源化)ご依頼時の梱包材として：デロンギヒーターに使用

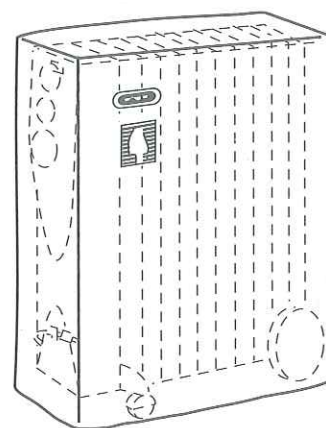


しているオイルには、環境に有害な有機塩素化合物・重金属が含まれておりません。しかし、自治体によっては、ご不用になったオイルヒーターを引き取らない場合があります。その際は、下記の要領に従って、弊社サービスセンター（前頁参照）までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について▶再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となりますので、予めご了承ください。

梱包について▶ご不用になったデロンギヒーターは、付属のデロンギ・エコ

カバーに包んでお送りください。また、デロンギ・エコカバー以外のもので梱包／返送される場合は、修理と区別するため、必ず表面に「再資源化」と明記してください。



※デロンギ・エコカバーは、無漂白の綿100%で出来ています。

## 仕 様

製 品 名 称		デロンギヒーター[ハイブリッド型] L字型フィン 24時間タイマー付
型式番号／放熱板の数		HG010915EC／9枚
適 用 量 数		4～10畳
定 格	電 圧／周 波 数	交流100V／50・60Hz
	消 費 電 力	400・500・600・1500W
外 形 寸 法／重 さ		長さ585×幅245×高さ650mm／17.0kg
タ イ マ ー		24時間ON/OFF型電子タイマー
安 全 装 置		転倒時 自動電源遮断装置・復帰型安全ヒューズ
電 源 コードの長さ		2.3m
付 属 品		台座×1、車軸×1、車輪(小)×2、車輪(大)×2 φ型ネジ×2、デロンギ・エコカバー

※外形寸法および重さは、車輪を取り付けた状態での数値です。



デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321(代)